

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和7年3月4日
長崎市立畝刈小学校
学校だよりNO. 140
校長 田中 成年

＜子供ど真ん中教育＞

～第4回 避難訓練～

2月26日（水）に、今年度最後の火災を想定した予告なしの避難訓練を行いました。子供たちは果たして「お・は・し・も・と」の約束を守り、しっかりと避難できたでしょうか。



中休みということもあり、移動教室の最中やそれぞれに過ごしている時間帯での避難訓練となりました。子供たちは避難指示の放送を聞き、それぞれ近くの先生方の指示に従ったり、自分で判断したりしながら運動場に避難してきました。



避難訓練の途中におしゃべりをしたりふざけたりする態度が見られたので、注意を受けた子供たちがいたようです。

集まってからは静かに待つことができ、担当の先生の話をしっかり聞く態度はすばらしかったです。



静かに教室に戻る様子です。教室に戻るまでが避難訓練です。教室に戻った後は、それぞれの学級で、今回の避難訓練の振り返りを行いました。



運動場から戻った後は、たくさんの砂が階段や廊下に落ちています。6年生や専科の先生、支援員さんがきれいに掃除をしてくれました。

自然災害はいつどこで起こるか分かりません。遊びに行っている先や買い物に行っている先で起こるかもしれません。子供たちには、常に「**自分の命は自分で守る**」という話をしています。そのためにも、普段から先生や友達の話に**しっかりと耳を傾けて「聞く」**ということを大切にしてもらいたいという話をしました。

子供たちには「**訓練は100点か0点しかありません**」という話もしました。もちろん本当に災害にあったときも「**100点**」でなければ、命を落としてしまう可能性が高くなってしまいます。訓練は訓練として行うのではなく、常に本当にあっていると思って臨むことが、いざ本当に災害にあった時に正しい行動がとれると思います。

「**日ごろの訓練のおかげで、命が助かった**」という体験談をよく耳にします。

ぜひご家庭でも、日ごろから話題にさせていただき、「**もし災害にあったときにはどのように対応したらよいか**」など、話をしていただけると、学校での避難訓練とも併せて、子供たちの命を守ることにつながるのではないかと思います。よろしくお願いいたします。